

# 第13回 映画の復元と 保存に関する ワークショップ

The 13th Film Restoration and  
Preservation Workshop

このワークショップは、映画をはじめとする動的映像の復元と保存に関する最新情報や現状、今後の映像アーカイブの課題について共に考え、参加者同士のネットワークを広げ、次世代に活躍する人材育成を目的としています。

昨年、一昨年は東京で開催し、各企業、専門施設、団体における最新の復元状況などをお教えいただきました。充実した内容で繰り広げられ、参加者も多かったことから、これまで積み上げてきた取り組みがより広く認知されてきたように感じられ、嬉しく思っています。

今年は京都府京都文化博物館をメイン会場に開催します。関西ならではの施設見学やテーマを選びました。映画・映像はかけがえのない文化遺産であることを広く知って貰い、それらを次世代に継承し、未来の映像文化をより豊かなものにするために、映画・映像産業に関わる人々、学芸員、研究者、学生、映画ファンなど映画保存に関心を持つ全ての方々のご参加を心よりお待ちしております。

テーマ「映像文化の未来へ」

2018年8月  
24日(金)/25日(土)/26日(日)

会場：

[1日目 見学・実習]

- (1) 京都府京都文化博物館 京都市中京区高倉通三条上ル東片町 623-1
- (2) 株式会社 IMAGICA ウェスト 大阪市北区同心 1-8-14
- (3) 株式会社松竹撮影所+株式会社東映京都スタジオ  
+東映株式会社京都撮影所  
集合場所：京都市右京区太秦堀ヶ内町 12-9 (松竹撮影所)
- (4) 国立民族学博物館〈みんなく〉 大阪府吹田市千里万博公園 10-1
- (5) 神戸映画資料館 兵庫県神戸市長田区腕塚町5丁目5-1
- (6) 株式会社吉岡映像 京都市上京区東今小路町 744 番地の5 コンフォート中野 3F
- (7) 関西文化学術研究都市 集合場所：近鉄「新祝園」JR「祝園」駅前バス乗り場

全日程の受講者の皆様は、上記の施設見学会または実習の一つにご参加いただけます。  
応募者多数の場合ご要望にお応えできないこともございますが、何卒ご了承ください。  
実習のみの受講はできません。

[2・3日目 講義]

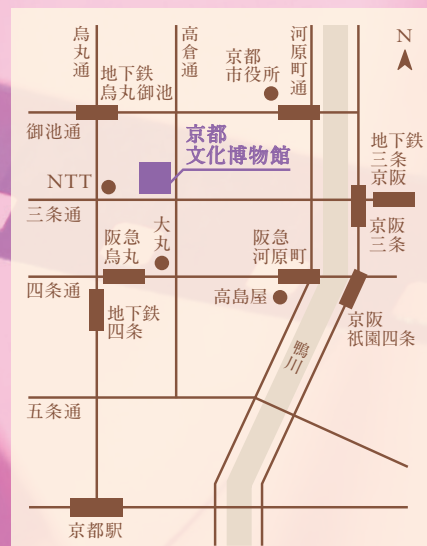
京都府京都文化博物館 フィルムシアター

京都市中京区三条高倉

最寄駅：地下鉄「烏丸御池駅」5番出口から徒歩3分

受講料：全日程 一般 8,000円/学生 4,000円

講義のみ 一般 6,000円/学生 3,000円 定員：講義 120名



主催：第13回「映画の復元と保存に関するワークショップ」実行委員会

主催メンバー：一般社団法人京都映画芸術文化研究所 (おもちゃ映画ミュージアム)、京都府京都文化博物館、プラネット映画資料図書館、神戸映画資料館、NPO法人映画保存協会、日本映画テレビ技術協会京都支部

協力：京都府、日本映像アーキビストの会 (仮称)呼びかけ人会、株式会社 IMAGICA、株式会社 IMAGICA ウェスト、東映株式会社京都撮影所、株式会社東映京都スタジオ、東映ラボ・テック株式会社、株式会社吉岡映像、株式会社松竹撮影所、株式会社東京現像所、株式会社東京光音、五常法律会計事務所、京都クロスメディア推進戦略拠点 (KCROP)、映像 S プロジェクト、株式会社けいはんな、一般社団法人記録映画保存センター、国立民族学博物館 (順不同)

事務局：一般社団法人京都映画芸術文化研究所  
おもちゃ映画ミュージアム内「映画の復元と保存に関するワークショップ」実行委員会事務局